



プロフェッショナル 仕事の流儀 「新しい仕事スペシャル」

放送日：2020年3月31日 放送時間：45分

対象校種 小学校3～6年 中学校 高校

対象教科 道徳 総合

この番組の良さ

● 新しい仕事

Society5.0と呼ばれる超スマート社会に向け、社会は大きく変貌しようとしています。そして働き方も大きく変化することが予想されます。本場組では、そんな時代が生んだ新しい仕事のプロフェッショナルたちの、格闘の日々に密着します。

● ユーチューバー HIKAKIN



ユーチューバーとはネット上に様々な動画を投稿し、収入を得るプロのことで。その代表的な一人にHIKAKINさんがいます。

ビートボックスの動画から投稿を始め、現在も身近さというスタンスで、企画から出演、撮影そして編集と、動画制作にかかる膨大な作業を一人でこなしています。

● プロゲーマー 梅原大吾



コンピューターゲーム上での対戦を生業とするプロゲーマーである梅原大吾さんは、世界大会で2度優勝し、ゲーム業界にその名を知られた日本人です。彼の存在がなければ、日本にプロゲーマーという職業が生まれていなかったと言われています。

プロとして勝利することはもちろんのこと、常に観客をいかに楽しませられるかを考えプレイしています。

番組活用のポイント

● 新しい職業観

2005年にYouTubeが開設され、収入を得るプロたちが現れました。将来も仕事として成り立つのかといった不安もあったのですが、時代を席巻するユーチューバーであるHIKAKINさんも、動画投稿によって自分の才能が開いた一人です。食料品店の店員をしながらビートボックスの動画を投稿し始めました。人気ゲームのビートボックス動画をきっかけに、一気に時代の先駆者への道を駆け上りました。

日本初のプロゲーマーとして、ようやく自分が得意で好きで本気でやれる仕事を見つけた梅原大吾さんですが、最初は、この仕事は社会に貢献していない、そんな罪悪感があったと言います。今こそ市民権を得たeスポーツですが、そんな認識が社会全体になかった時から、未来を夢見てゲームに打ち込んできた情熱を追います。

本番組を視聴することで、先駆者である二人の生きざまから、既成概念にとらわれない、これからの新しい社会における新しい職業観について考えるきっかけとなるでしょう。

● 変わらない勤労観

本番組で、子供たちに人気の新しい職業について知ることが大切ですが、この二人の生きざまから勤労観について考えることを大切にしたいです。

ユーチューバーHIKAKINさんの動画作成の現場からは、華やかな表舞台からは想像できない、制作に関する舞台裏が見えてきます。1年365日ほとんど休むことなく動画作りに取り組むHIKAKINさんですが、見る人を喜ばせようとしている一方で、これで正しいのか冷静に自分自身をチェックしています。自分の気持ちを伝えるために、動画作りは常に100%の力で、妥協せず全て一人でこなしています。歩みを止めず、見る人に元気になってもらう、そんな仕事を目指しています。

プロゲーマーである梅原大吾さんですが、大人にとっては全くの未知の世界の仕事のイメージがあると思います。ストイックに仕事に向き合う姿勢から、戦いに勝利することはもちろんですが、見ている観客を喜ばせることが、この仕事のゴールだと学びます。それは、自分が本気で仕事を楽しんでいるからこそ生まれることです。仕事を続ける上で大切なことは、自分で考え自分で決めることだということを理解することができます。

二人の仕事に対する情熱から、根本にある働くことの意味や意義について考えるきっかけとなるでしょう。



執筆者
海陽町立海部小学校
指導教諭 溝内正剛

HIKAKINさんの働き方から、 これからの新しい仕事について考えよう。

対象校種

小学校

対象教科

道徳

【授業時間 45分】 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> 昔はなくて、最近新しく生まれた仕事には何があるか尋ねる。 新しい仕事の中から、動画投稿サイト、特にYouTubeについて知っていることを持っていることはないか尋ねる。 YouTubeのマークを提示し、HIKAKINさんなど動画投稿で生計を立てているYouTuberがいることを説明する。 開始～2分22秒の「番組タイトル」の後一時停止する。 本時の課題を確認し、板書を行う。 課題提示後、課題に対する子ども達の見を引き出す。 27分51秒の「そっちのほうがいい人生だったって思えるんじゃないかと思うんですね。」のナレーション後一時停止を行い、子供たちの意見を引き出す。 意見交流する時間を設定し、仕事への見方や考え方を広げる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事に対する思いや仕事ぶりから、学んだことを、これからの自分の考え方や生き方に生かそうとしているか。